

令和5年度 特別の教育課程の実施状況等について

栃木県		
学 校 名	管理機関名	設置者の別
足利市立坂西北小学校	足利市教育委員会	公立

1. 特別の教育課程の内容

(1) 特別の教育課程の概要

本市全小学校において、平成15年度より取り組んできた英会話学習の内容と外国語活動・外国語科の内容を関連づけた独自の年間指導計画を作成し、「話すこと」「聞くこと」に特化した指導を行うことで、英語によるコミュニケーション能力の育成を図る。

必要となる教育課程の基準の特例については、「教育課程特例校編成の基本方針等について」を参照。

2. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

(1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

- 計画通り実施できている
- ・一部、計画通り実施できていない
- ・ほとんど計画通り実施できていない

(2) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

- 実施している
- ・実施していない

(3) 自校における評価

- ・第1学年から英語に触れ、ゲームや歌などの活動を行うことで「楽しい」という意識付けにつながっている。
- ・第1学年からの英会話学習の実施のおかげで、英語に対する壁が低くなっている。
- ・ALTやEAAの先生の発音をよく聞いて、積極的に発音することができていた。
- ・ALTやEAAの先生が授業に入っていることで、発音練習や会話練習などに大変役立っている。
- ・「英語チャレンジDAY」の実施により、生きた英語を使ってコミュニケーションを図ることができた。また、相手意識や目的意識があるので、児童の意欲が高まっている。

(4) 学校関係者による評価

<児童>

- みんなで英語を話すのが楽しい。
- ゲームや歌、劇などをして楽しく英語を学ぶことができる。
- いろいろな英単語を覚えたり、話したりできるようになった。
- クリス先生やアワンティ先生が楽しく教えてくれることがいい。
- 英語チャレンジ DAY でいろいろな先生と会話ができてよかった。
- いつか外国に行きたいので、英語を頑張りたい。

<保護者>

- 楽しく遊びながら英語に親しみ、慣れていくことはよい。
- 苦手意識や恥ずかしさのない低学年から始めることで、スムーズに英語に慣れていける。
- 小学校から英語の授業を行うことで、聞く力が鍛えられる。
- これからもたくさん英語を話せるようになってほしい。

3. 実施の効果及び課題

<効果>

- 楽しく英語に慣れ親しむことができた。
- 廊下等で ALT や EAA の先生とすれ違うと、「Hello!」と自然に会話しようとする姿が見られた。
- ハロウィンやクリスマス等の行事や季節に関連した活動が取り入れられているので、外国の文化に触れることができ、体験的に理解することができた。
- 高学年では、「読むこと」「書くこと」の活動にも取り入れていくことができた。

<課題>

- 事前打ち合わせの時間が十分ではなかった。
- 児童の振り返りから、次時の学習内容の検討や児童の評価に生かしていきたい。

4. 課題の改善のための取組の方向性

- 放課後の時間を有効に使う。(振り返りカードの作成、評価方法の具体化等)
- 打ち合わせ時間を位置づけることで、ALT や EAA の先生と連携した授業が行えるようにする。
- 担任が T1 となって授業を進める。担任が英語を積極的に使う姿を見せることで、児童も「英語を使ってみよう。」という意欲が高まってくると思う。